地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊が行く！

今月の担当は
赤池 隊員です！

皆さん、こんにちは！
４月より地域おこし協力隊になりました。赤池優奈です！
先月は、パリ五輪の視聴に明け暮れて寝不足続きでした！
皆さんは何の競技が一番面白かったですか？私はサーフィンです！

▲港まつりカッター大会の様子

これまでの活動

協力隊に着任してから約5カ月間、さまざまなスポーツイベントに関わらせていただきました。スポーツ少年団の野球大会や九州女子硬式野球リーグ、港まつりカッター大会など、球場を利用したイベントや港がある街ならではのイベントはどれも新鮮でおもしろいものばかりでした。中には数年ぶりの開催となったイベントもあり、私個人としてはすごくタイミングのいい時期に協力隊としての活動をスタートできたと感じています。イベントでは、主に運営として働いており、スポーツイベントを通して枕崎市のスポーツ団体のことや各競技の人口・実績のほかに、イベント開催のノウハウを学んでいます。今学んでいることを活かして今後スポーツイベントを主催することが活動の目標の一つです！

スポーツについて

スポーツで枕崎市を活性化させることが私のミッションということで、「スポーツ」というものについて少しお話ししようと思います。早速ですが皆さんに質問です。「スポーツとは何ですか？」私は大学でスポーツ分野を専門に学びました。そしてこの質問は大学に入って最初の授業で教授にされた質問です。おそらく野球やバスケなどの競技のことをスポーツだと思う方が多いと思います。私もその一人でした。これは正解であって正解でないというのが答えです。スポーツという言葉は広い意味を持っています。語源はラテン語の「deportare」だといわれており「気晴らし、楽しみ、休養」といった意味を持ちます。また日本にはスポーツ基本法をもとに作られたスポーツ基本計画というものがあり、スポーツは「する」「みる」「ささえる」というさまざまな形で自発的に参画し「楽しさ」や「喜び」を感じることを本質に持つものであると捉えています。つまり人生をより楽しく、より健康にするためにそれぞれが自由に身体を動かしたり、自由に観戦したりして楽しむことがスポーツであるということです。身体を動かすことはもちろん大事ですが、スポーツをもっとラフに捉えることが健康で楽しい人生への第一歩だと思いますし、スポーツが大好きだと言える人を増やしていけるような活動をこれからしていきたいと思っています！

インスタグラム開設

インスタグラムのアカウントを開設しました！私個人の活動や枕崎市で開催されているスポーツイベントの情報などを投稿していきます！

@MKRZK_SPORTS

市長コラム vol. 65

8月15日に思ったこと。

ここ数年、8月15日には、南九州市で開催される「平和へのメッセージ from 知覧」の会場を訪れて、中高生などの平和へのメッセージを聴くことが恒例となっています。今年も、会場で若者のメッセージを聴いてきました。8月15日という日本にとっての特別な日に、先の大戦におけるこの国にとっての特別な場所「知覧」で、若者のメッセージを聴きながら、ふと、あることに思いを馳せました。若者たちから毎年この時期に「平和」についての思いを聴くけれども、私を含む大人たちも、もっと平和についてメッセージを発信するべきではないだろうか、と。終戦記念日の全国戦没者追悼式や広島・長崎の原爆死没者慰霊・平和祈念式典で首長や首相のメッセージが伝えられますが、日常的に平和へのメッセージ、思いを発することはそう多くないな、という気がしています。さらに、わが国で戦争、平和ということがクローズアップされるのがどうしても夏、8月に偏ってしまうことにも、ふと疑問を持ってしまいました。

以前、このコラムでも書いたと記憶していますが、「戦争」の反対は「話し合い」、「平和」の反対は「無秩序」である、と。平和の実現こそが人類にとって最優先事項であるとすると、平和とは日常と切っても切り離せない重要事項であり、私たちの暮らしの中に常にあるべき存在なのだと思います。「戦争と平和」という文脈だけではなく「日常と平和」という文脈も日頃から意識しておく必要がありそうです。暮らしの中での人を思う心、家族の関係、寛容さ、いろんな言葉が浮かんできます。日常の暮らしの中で、平和に思いを巡らす大切さを感じた今年の8月15日でした。

枕崎（まく） × 人（ひと） × 仕事（しごと）　No.35

古木（けいた）　啓太 さん　(31)

三愛書店花渡川店プラスゲオ / 桜木町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。
今月は、市内唯一の書店である三愛書店花渡川店プラスゲオを取材しました。

「小さな本から大きな夢を」をモットーに、今年で創業44年目を迎える三愛書店。昭和56年に三愛書店駅前店として創業し、CD・ビデオレンタルのゲオ部門や、生産者直売所の三愛マルシェを併設するなど、地域のニーズに合わせた事業を展開しています。今回は、三愛書店花渡川店プラスゲオで副店長を務める古木啓太さんを取材しました。

本市出身の古木さんは、別府小・中学校を卒業後、川辺高校へ進学。その後、長崎の大学で地域政策について学びました。地元での就職を希望していた古木さんは、小さいころから親しんでいた三愛書店への就職を決めました。

就職した当初はレンタル部門を担当をしていた古木さんですが、今では副店長として店内全体の業務を任されています。難しいのは、地域の特色を把握すること。全国的な書籍の売り上げデータは調べられますが、その地域によって売れ行きは異なります。そのことを実感したのが、本市出身の作家西村亨さんが太宰治賞を受賞した時でした。受賞作品「自分以外全員他人」が発売されると、全国の売り上げデータと比べて大きく伸び、地域ならではの特色を感じたといいます。

三愛書店の魅力の一つは、地域との距離が近いこと。お客さんのほとんどが地元の方であることはもちろん、三愛マルシェでは、300人以上のさまざまな分野の生産者との取り引きがあり、直接声を聞くことができます。さらに、地元高校の図書室に置く本を選ぶ「選書」という作業のお手伝いもしていて、未来を担う高校生からの要望に応えた本を提案できるよう努力しています。

プライベートでは、サウナが好きでリフレッシュに利用しているという古木さん。今後の目標は「三愛書店をもっと地域の方に必要とされる店舗にしていくこと」また、「全国的にインターネットの普及等の影響で閉店する書店が増えています。地元書店のご利用をお願いします」と話しました。

スポーツ・文化イベント情報

南溟館
開 9:00 ～ 17:00
※入館は16:30まで
休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

南溟館臨時休館のお知らせ

9月9日(月)～14(土)の間、金澤翔子展搬出およびキン・シオタニ展開催準備のため、南溟館は休館します。

キン・シオタニ展～絵と題名～

イラストレーターで文筆家のキン・シオタニ氏による作品展。作品を通してアートのおもしろさだけでなく、普段気付かない枕崎の良さを伝える展覧会として開催します。

また、ワークショップ「キン・シオタニさんと一緒に絵をかいて題名をつけよう」を9月15日午後2時から開催しますので参加をご希望の方は南溟館までお問い合わせください。

- **会期**　9月15日(日)～10月16日(水)
- **観覧料**　一般200円、大学・高校生100円、中学生以下無料

第55回市民運動会「職場対抗リレー」の参加者を募集

10月20日、5年ぶりに開催される市民運動会の「職場対抗リレー」への参加者を募集します。今回も、速さの「ベスト」、PR等の「パフォーマンス」の2部門で開催します。多くの参加をお待ちしています。

- **競技開始時間**　11時頃(予定)
- **チーム編成**　1チーム4人(1人100m)
- **申込方法**　市ホームページから申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、総合体育館へ提出(FAX可)
- **申込期限**　9月27日(金)
- **問合せ**　総合体育館　TEL76-6151　FAX78-3211

道路で動物の死骸を見かけたら市役所までご連絡ください　TEL76-1097